

# 豊庄だより



第 729 号 2022 年 10 月 24 日

前号(728号)で、誕生会の後の懇談会の様子を、「ベテランのお母さんの体験談がとても参考になった」と書きましたが、今号では、もっと具体的にその内容について紹介します。

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



## ☆夜なかなか寝ない。

### ・保護者 A

夜なかなか寝ません。延長保育を利用して、遅くまで保育園で遊んでいるのに寝付かず、逆にテンションが高いのです。「4月からは小学生」ということも話し、早寝早起きしないといけないことは親子で分かっているのですが…。

### ・保護者 B

夜は、親も一緒に寝るように雰囲気づくりからしています。姉は寝るまでのルーティーン(お手伝いしてから布団へ)

ができていのように感じます。弟は、保育園で午睡をしていることもあり、寝つきは遅く、真っ暗な中でも「寝た？」と家族に話しかけるが、「寝た。みんな寝たよ。」と答えながら全員眠りについています。

## ☆あと追いがすごい。

4枚の写真はすべて10月誕生会の様子です。

### ・保護者 C

時期的に成長の一つだと思いますが、あと追いがすごいんです。トイレにも行けません。はやく落ち着いてくれないかなあ～

### ・保護者 D

思い返せば、あと追いがありました！！トイレも一緒に入っていました。いつの間にかあと追いもなくなりますよ。

### ・保育士 A

保育園では、入園当初はお母さんのあと追い、担任のあと追いは誰にでも見られますが、少しずつ信頼関係ができ、担任以外の先生たちの顔も覚え、あと追いはなくなっています。



## ☆指しゃぶりがなかなか治らない。

### ・保護者 E

指しゃぶりがなかなか治らなくて困っています。

### ・保護者 B

弟の指しゃぶりは 3 歳くらいまであり、指にワサビや梅をぬってみましたが、効果なし。おいしかったのかもしれませんが。冬場になり、指しゃぶりでできた吸いだこがあか切れになり、ばんそうこうを貼りましたが、それでも指しゃぶりをするので、ばんそうこうに絵をかくて貼ってみたら、(指しゃぶりをして)絵が消えるのが嫌だったことがきっかけなのか、あか切れが痛かったからなのか、本人の意志でなのか、ゆり組になってからはなくなっていました。その代わりなのか、タオルやハンカチのタグ触りは継続中です。

### ・保護者 F

子育てでは、特に悩みはありません。いろいろ気になることがあっても、スルーするスキルを覚えたようです。指しゃぶりは、保育園ではなかったと思うのですが、家では 2 歳ころまでありました。同級生の女の子(お友達)に、

「えっ？指しゃぶりしているの・・・」と言われたことがきっかけでなくなりました。

### ・保育士 B

指しゃぶりは、ちょっとしたきっかけだったり、やめようという自分の意志でなくなっていくものなのかもしれませんね。『つめかみおぼけ』(作 よしむらあきこ 教育画劇)という絵本があります。爪をガジガジ噛むくせのあるゆうちゃんの話です。この絵本の中には、爪の役割や爪を噛むことで起こりうる困りごとが分かりやすく紹介されています。



## ☆野菜嫌い

### ・保護者 F

保育園では給食を完食しているのに、家では野菜を食べず困っています。

### ・保育士 A:

担任の先生に、保育園での様子を聞きました。苦手な様子が見られる時、「1 回、食べてみようか」と口に運ぶと食べているということでした。そこで、食べることができたことをほめ、自分で食べるよう気持ちが高まるように声掛けに心がけているということでした。とはいえ、家ではなかなかそうもいかないと思います。好きなもの(ハンバーグやカレーライス)に野菜を入れてみるのもよいと思います。保育園では、楽しく食事をすることを一番に考えています。嫌いなものも量を減らしたり、「どっちにする？」と選択して自分で決めた方を食べる等、保育士も工夫しながら取り組んでいます。

※懇談会は 30 分くらいで終わりましたが、保育園や家で困っていること、悩んでいることを出し合う場になったのではないかと考えています。ひとりで悩まず、これからもこうしたりくみを大切にしたいと思っています。



保育士 A、B は、白石、熊川先生でした。